

床下環境からシロアリと結露を断つ画期的建材

TBボード施工行程

I-TBボードの型枠への仮取付け

基礎型枠の内面外側に、TBボードを並べ捨コンから50mmあげて仮固定

TBボード接合部に下端から地面の高さまで接合ペーストを塗って突き合わせる。
(10枚に1本の目安で使用)

※ TBボード切断時には、のこぎり、カッターを使用してください。

※ TBボード固定には、配筋からセパレーター等を使用してください。

II-コンクリート打設

コンクリート打設しTBボード下端に痘痕が発生しないようバイブレーターを使用

III-防蟻バリアー処理(型枠離型後)

給排水配管目地、取り合い部等の隙間部分に防蟻フォームを充填する。
断熱材配管を防蟻フォームで充填する。
ジャンカーができたところを防蟻フォームで埋める。

IV-モルタル下地塗り

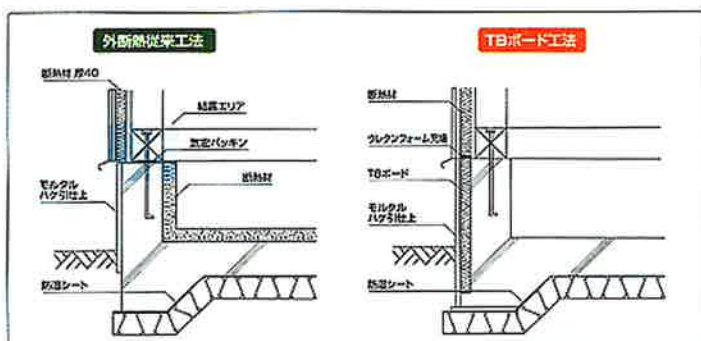
埋め戻しの前に防蟻フォームをカッター等で平滑にする。この時TB
ボード表面に傷を付けないように注意する。

V-埋め戻し

TBボードに傷をつけないように注意をして埋め戻す。

VI-モルタル仕上

布基礎地上部分のモルタル仕上をする。



TBボード施工要領-1

TBボードの特性を活かすために以下の要領をお守りください。

1 外張り基礎断熱用として基礎外周全面に使用します。
 玄関建具下や勝手口等基礎の立ち上がりの短い部分にも必ず右図のようにTBボードにて外部との縁を切ること。

2 上下・表裏に注意しましょう。
 施工時に天・地・内・外の向きに注意しましょう。

標準タイプ

注意: 右の図で色の濃い部分が対シロアリ性能を持つ防蟻部分です。

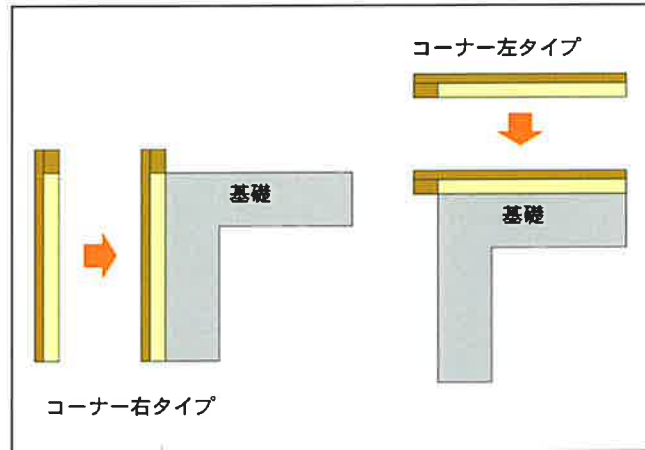
コーナータイプ

TBボード寸法 25~105×610・750・910×910

※上の図で、色の濃い部分が必ず外側及び底面になるように施工します。

TBボード施工要領-2

- 3** コーナー(出隅)部には、必ずコーナー用を使用します。
 コーナー用TBボードの防蟻部分を
 出隅に合わせ、これに標準用TBボードを
 を突き合わせ、出隅部分を構成します。



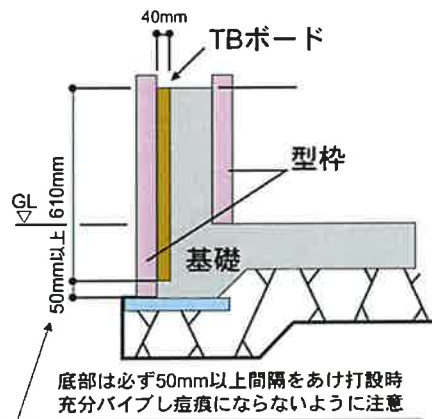
- 4** 捨コンから50mmあげて仮固定します

50mmの隙間にコンクリートが入り防蟻層が
 できます

※右図参照 (T=40mmのとき)
 接合ペースト・防蟻フォームによる
 防蟻処理

TBボード接合面の下端からGL
 の高さまで防蟻ペーストを塗っ
 て突き合わせる。
 基礎完成後、配管目地に防蟻
 フォームで目止めする。
 基礎下端のジャンカーが出来
 たところに防蟻フォームを充填

【基礎断面図・一例】



- 5** 保護モルタル仕上

クラック防止のためにTBボード
 突合せ接合部分にガラスネット
 を使用してモルタル仕上を行います。
 使用モルタルは、クラックが入り
 にくい樹脂モルタルを推奨しま
 す。

